

大阪ガスグループの経営とCSR

大阪ガスグループは、お客さま価値の最大化を第一に、公正で透明な事業活動を通じて、株主さま、社会、従業員など全てのステークホルダーの価値をともに高めていく「価値創造の経営」を基本理念としており、この価値創造の経営を実現することが、当社のCSR(社会的責任)を全うすることと考えています。

お客さま価値

大阪ガスグループは、お客さまそれぞれのニーズをタイムリーに捉え、魅力的なソリューション提案により、お客さまのご期待にお応えしていきます。天然ガス、電力、LPGなど、お客さまのご要望にお応えするエネルギーを安全確実にお届けすることにより、地球環境に優しく、品質とサービスに優れた最適なエネルギーの利用を実現します。また、快適・便利・安全な暮らしとビジネスの発展に貢献する商品やサービスの提案を通じて、お客さまの満足を高めます。

株主さま価値

大阪ガスグループは、持続的に業績を向上させ、安定的な配当を継続することにより、株主さまのご期待にお応えしていきます。

価値創造の経営

社会価値

大阪ガスグループは、地球環境に優しい天然ガスの普及と利用の高度化を通じて環境負荷を軽減するとともに、地域社会活性化に貢献する企業活動を通じて安心して暮らせる社会づくりに努めます。あわせて、法令など遵守(コンプライアンス)と情報公開を徹底し、経営の透明性を高めます。

従業員価値

大阪ガスグループは、従業員の個性と自主性を活かす人間成長の経営を推進していきます。大阪ガスグループの従業員は、常に研鑽と啓発に努め、お客さま、株主さま、社会の期待に応える新しい価値を生み出すよう努力します。従業員と会社は、相互に信頼感と緊張感を持って、会社の健全な成長をともに高めます。

大阪ガスグループCSR憲章の制定と取り組み

2006年4月、「大阪ガスグループCSR憲章」を制定し、CSRの理念及びCSRに関する取り組み方針を明確化しました。また、2006年7月にはCSR推進会議及びCSR委員会を設置してCSR推進体制を整備するとともに、CSR活動を統括する役員（CSR統括）を任命し、適切かつ積極的なCSR活動に取り組んでいます。社会的責任を果たすため、当社は、2007年6月に国連グローバル・コンパクトに日本の公益企業として初めて参加しました。2009年には国連に提出した活動報告書が「Notable COP」に選ばれ、2010年には国連・責任投資原則（PRI）を支持する投資家

たちから「Leaders」に選ばれています。

CSR憲章を具現化するための指標として、外部ステークホルダーの意見も反映させた「CSR指標」を2009年に策定・公表しています。これは憲章ごとに取り組み水準を評価し、さらなる企業価値の向上を目指すための目安であり、成果の基準ともなるものです。組織横断的な調整・推進を行うCSR委員会の定期開催などを通じて、その実効性を高めていくとともに、それぞれの取り組み内容については毎年「CSRレポート」にて発表しています。

大阪ガスグループCSR憲章

大阪ガスグループは、お客さま価値の最大化を第一に、公正で透明な事業活動を通じて、株主さま、社会、従業員など全てのステークホルダーの価値をともに高めていく「価値創造の経営」を基本理念としており、この価値創造の経営を実現することが、当社グループのCSR（社会的責任）を全うすることと考えています。

企業の社会的責任を全うし、大阪ガスグループが持続的な発展を図っていくため、ここに「大阪ガスグループCSR憲章」を定め、当社グループの役員および従業員の行動の指針とします。

経営トップをはじめとする各組織の責任者は、本憲章の趣旨を体し、率先垂範に努めます。また、法令違反等の問題が発生したときは、経営トップをはじめとする各組織の責任者は、自ら問題解決にあたり厳正に対処します。

- I. お客さま価値の創造
- II. 環境との調和と持続可能な社会への貢献
- III. 社会とのコミュニケーションと社会貢献
- IV. コンプライアンスの推進と人権の尊重
- V. 人間成長を目指した企業経営

コンプライアンス

当社は、企業としての社会的責任を果たすためには、その基盤であるコンプライアンスの徹底を図ることが何よりも大切であると認識しています。この考えのもと、2000年に「大阪ガスグループ企業行動基準」を定め、当社の役員・従業員はもとより関係会社の役員・従業員を含めた当社グループの全員に対し、研修や啓発を通じて法令などの遵守の周知・徹底を図っています。また、推進体制としては、CSR委員

会及びコンプライアンス部会を設置するとともに、推進の専任部署としてコンプライアンス部及び内部通報制度であるコンプライアンス・デスクを設置しています。これらの体制のもと、「法令・規程類を知る」、「守る風土・違反を起こさない仕組みを構築する」、「監視・モニタリングを強化・充実する」の3つの活動を重点的に推進し、グループ内へのコンプライアンスの一層の浸透と「体質化」を目指しています。

大阪ガスグループ企業行動基準

I. 良き企業市民としての行動基準

- 1. 人権の尊重
- 2. 環境保全への配慮

II. 製造・供給活動等における行動基準

- 3. エネルギー事業者およびその他事業者としての責務
- 4. 製品等の安全性の確保

III. 取引活動における行動基準

- 5. 独占禁止法の遵守
- 6. 公正な取引の実施
- 7. お客さまとの応対
- 8. 関係先・取引先との交際

IV. 情報管理における行動基準

- 9. 情報の取扱いと公開・開示
- 10. 情報システムの取扱い
- 11. 知的財産等の取扱い

V. 職場における行動基準

- 12. 安心して働ける環境の整備
- 13. 雇用と処遇等

VI. 社会に対する行動基準

- 14. 反社会的勢力との関係遮断、利益供与の禁止
- 15. 適正な納税

大阪ガスグループの環境への取り組み

大阪ガスグループ内における環境に対する取り組みでは、製造所や事務所ビルでのエネルギー資源の効率的利用の推進と再生資源の利用促進などにより、事業活動における環境負荷の低減を積極的に進めています。当社では、1997年から部門ごとに認証取得してきた7つの環境マネジメントシステムを統合し、2007年12月にISO 14001の全社統合認証を取得し、一体となった環境経営を推進しています。さらに、国内にある全ての関係会社で環境マネジメントシステムを導入し、運用しています(2010年6月末現在85社)。

当社は、製品・サービスの提供を通じて、お客さま先でのCO₂排出量削減など環境負荷の軽減にも積極的に取り組んでいます。ガス事業では、国のエネルギー政策の方向性に沿った、環境に優しい天然ガスの普及をはじめ、コージェネレーションシステムやガス空調システムなどの高効率機器・システムの普及促進を図るとともに、省

エネ設備導入の際のお客さまのコスト負担を軽くするファイナンススキームをご用意するなど、さまざまなサービスを提供しています。

大阪ガスグループでは、従来より製造所構内の緑地における希少植物の育成や、国内外での植林活動など、環境保全活動にも積極的に取り組んできました。これらを背景に2010年4月には「大阪ガスグループ生物多様性方針」を発表しました。これに基づき、今後は古典文学に登場する植物をテーマにした都心の保有物件の緑化など、行政・研究機関などと連携しながら活動を進めます。

また、環境パフォーマンス・データの積極的な公表にも力を入れ、当社は2009年11月、カーボンディスクロージャープロジェクトにおいて「気候変動関連情報開示先進企業」(日本企業の調査対象500社中31社)に選定されました。

地域及び国際社会への貢献活動

当社は、地域の皆さまの生活に密着した事業を展開するとともに、主な原料である天然ガスを介して、東南アジア・大洋州地域を中心とした国際社会との太い絆を形成しています。

当社は1981年から大阪ガスグループの企業ボランティア活動「小さな灯^{ともしび}」運動を展開しています。「従業員一人ひとりが身近なことに興味を持ち、地域社会のさまざまな問題の解決に自らの意思で積極的に取り組んでいこう」と、地道ながらも継続的に社会貢献活動に取り組んでいます。さらに、社員やOBによる出張授業「エネルギー環境教育」やセミナー、「親子クッキングコンテスト」などの食育、北京五輪メダリストの朝原宣治が主宰するスポーツクラブなど、次世代を担う子どもたちを対象としたさまざまな活動を実施しています。それらの活動をキッズ応援プロジェ

クト「エネルギーキッズ」として推進し、積極的に情報発信しているほか、事業間の連携を図っています。

(財)大阪ガスグループ福祉財団では、活力あふれる長寿社会実現への寄与を目的として、高齢者を対象とした福祉活動や研究・調査への助成を行うとともに、高齢者の健康の維持・増進を目的とした健康づくり事業を推進しています。2009年度は、14,800人の方に参加していただきました。

また、国際社会への貢献活動としては、1992年に設立した(財)大阪ガス国際交流財団を通じて、東南アジア・大洋州地域の天然ガス産出国との国際相互理解の促進を目的に助成事業を実施しています。教育機材、試験研究、奨学金など18年間で累計319百万円を助成しました。

SRIインデックスへの組み入れ状況

以上のようなCSRへの取り組みの結果、2010年3月末時点で、当社は、以下のSRI(社会的責任投資)関連インデックスに採用されています。

- Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index
- FTSE4Good Index Series
- ECPI Ethical Index Global (E. Capital Partners Indices)
- Ethibel Sustainability Index
- KLD Global Climate 100 Index (KLD Research & Analytics)
- モーニングスター 社会的責任投資株価指数